2022年度卒業時満足度および成長実感の分析

－共通学生調査（卒業時調査 ） 2022 の結果より－

大学企画室・FDIR企画部会

■調査期間：2022年12月27日～2023年2月21日

■調査対象：全学部４年生（卒業予定者848名）

■調査方法：WEB調査（Web Class）※回答選択＋一部記述式

■在籍者数：848名※2022年12月1日

■回答状況

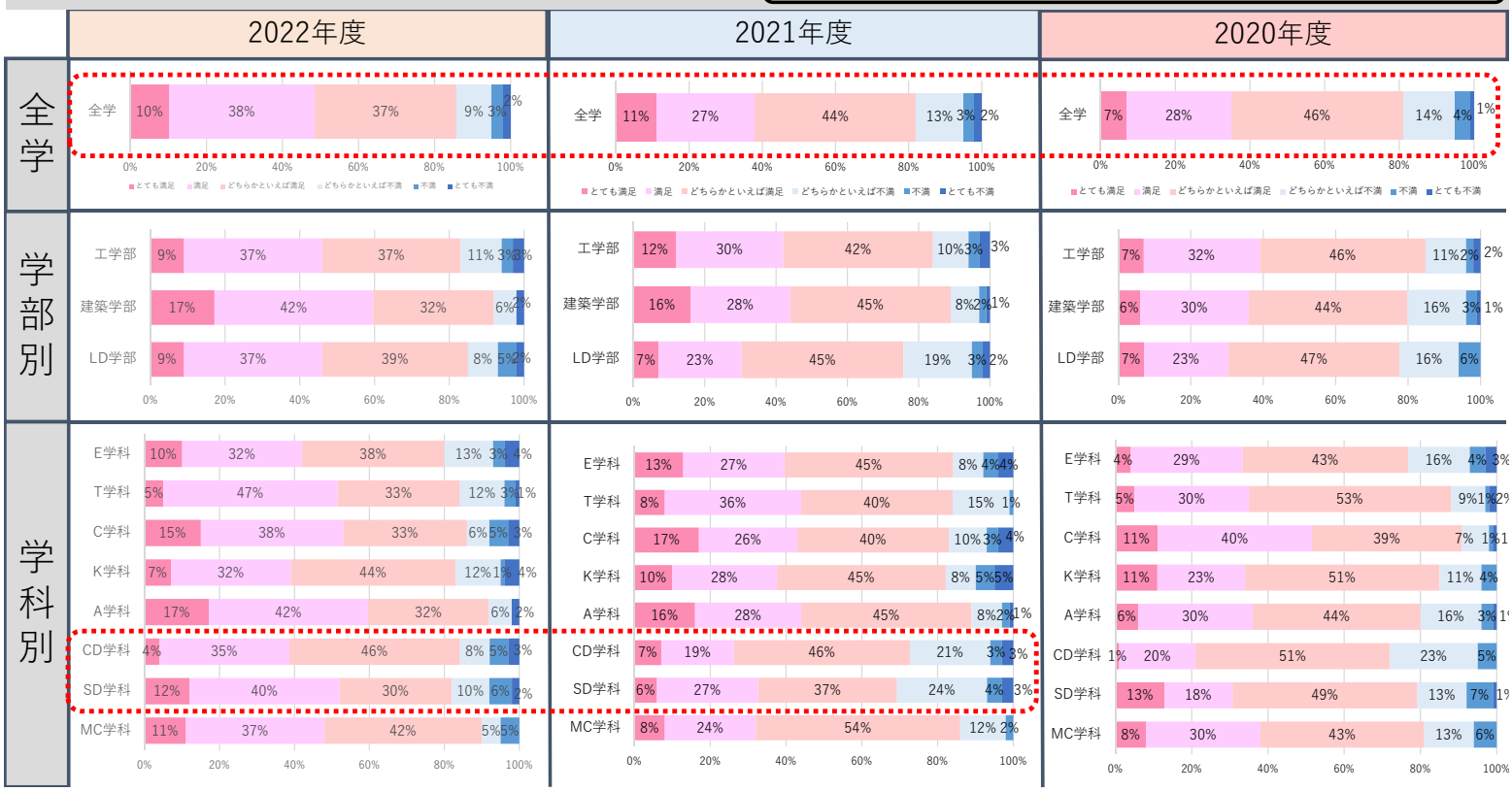
	学年	対象者数	回答者数	回答率
全学	4年生	848名	769名	91％

■赤色：ポジティブ回答（満足・成長実感がある・能力が増えた）

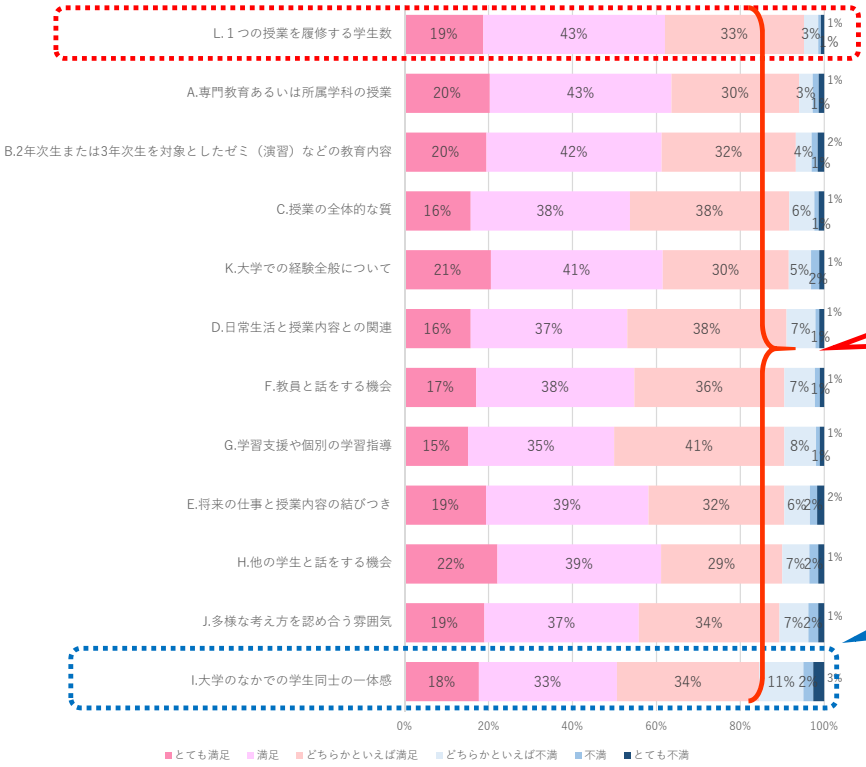
■青色：ネガティブ回答（不満・成長実感がない・能力が減った）

１．卒業時の満足度

★全学：４年生の８割以上が満足している
★CD学科・SD学科：不満層の割合が10数％減少した



１－（１）　本学の教育内容・環境に対する満足度

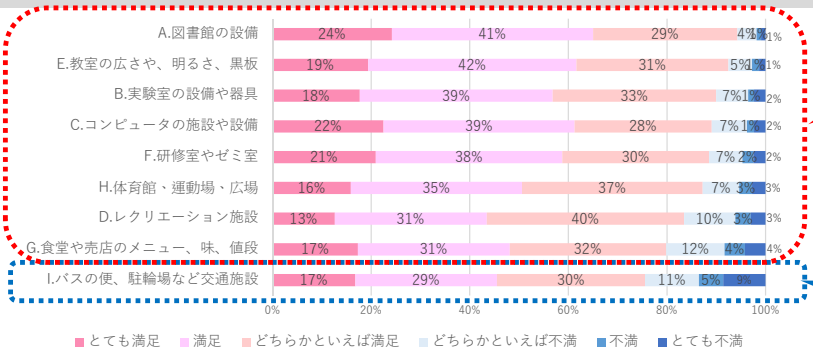


【最も満足層が多かった項目】
「１つの授業を履修する学生数】
（満足層：95%）

【すべての項目】
4年生の「８割以上が満足」

【最も不満層が多かった項目】
「大学のなかでの学生同士の一体感」
（不満層：16%）

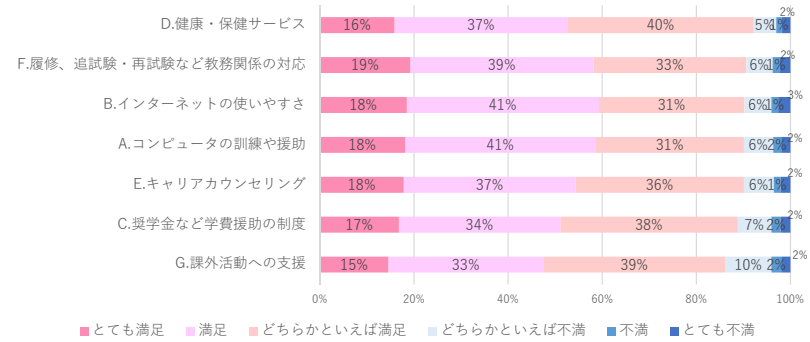
１－（２）本学の施設設備に対する満足度



４年生の「8割以上が満足」

「バスの便、駐輪場など交通施設」
満足度が低い

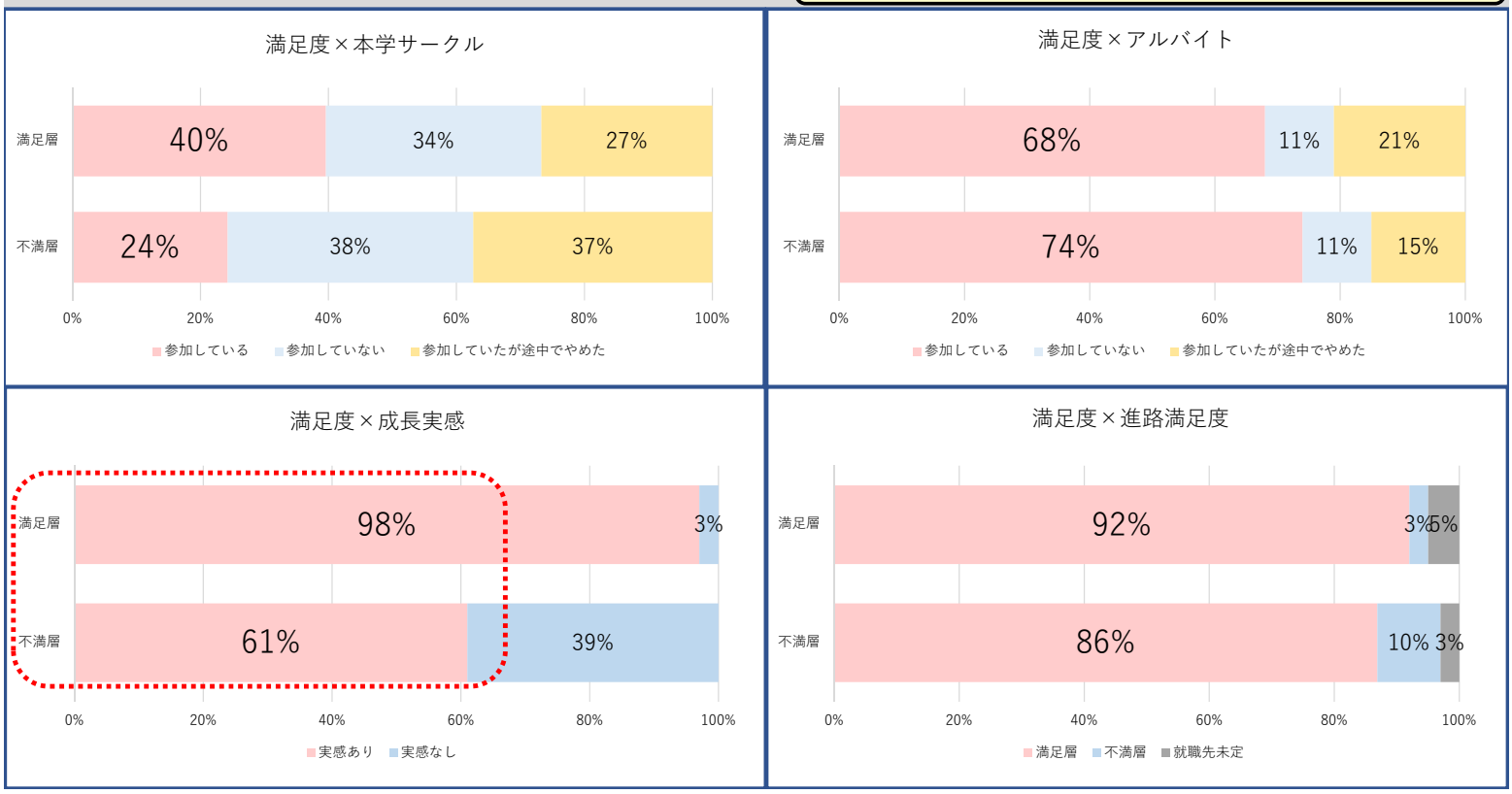
１－（３）大学の学生支援・制度に対する満足度



【学生支援・制度】
全般的に満足層の割合が高い
→全ての項目で80%を超えている

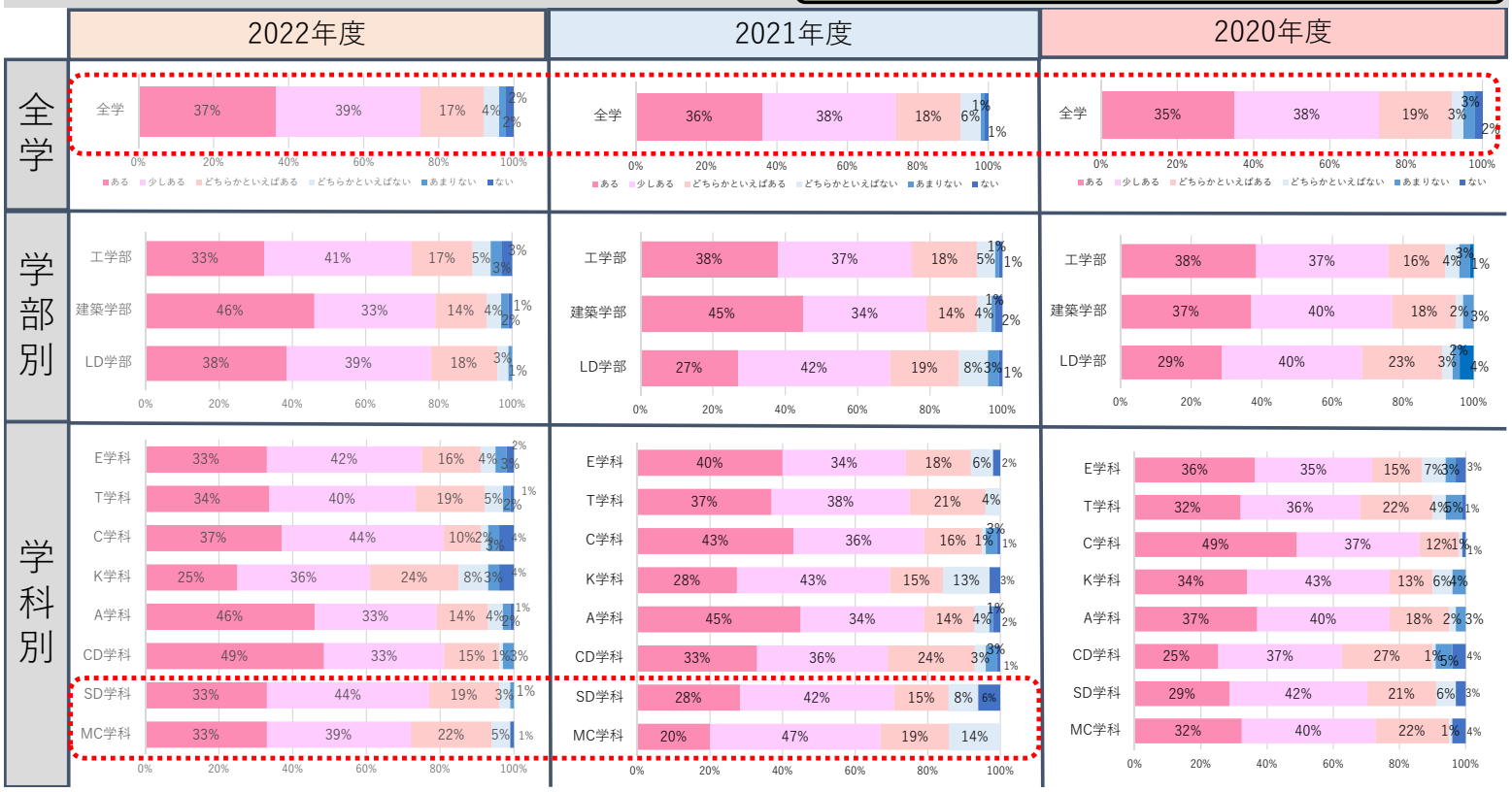
１－（４）　満足層・不満層の特徴

★満足度×成長実感：満足層と不満層に37%の差がある

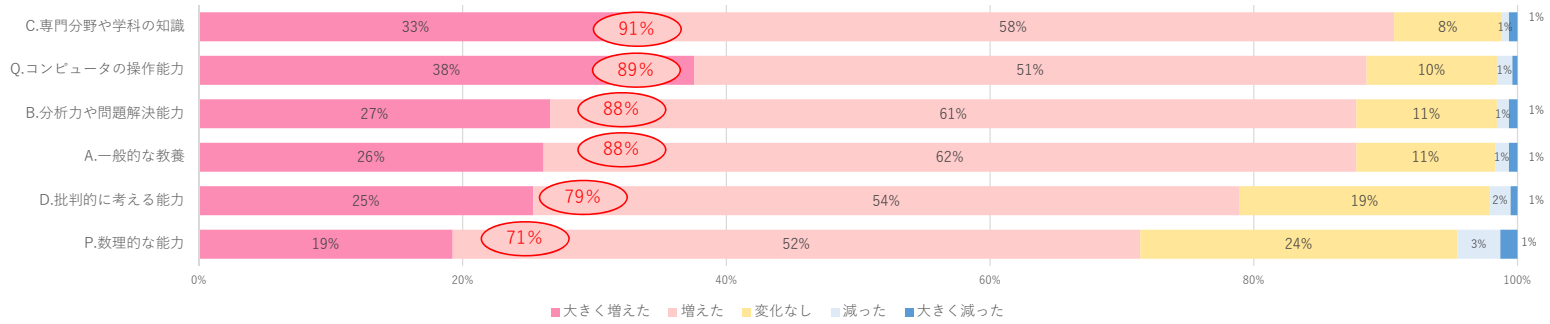


２．卒業時の成長実感

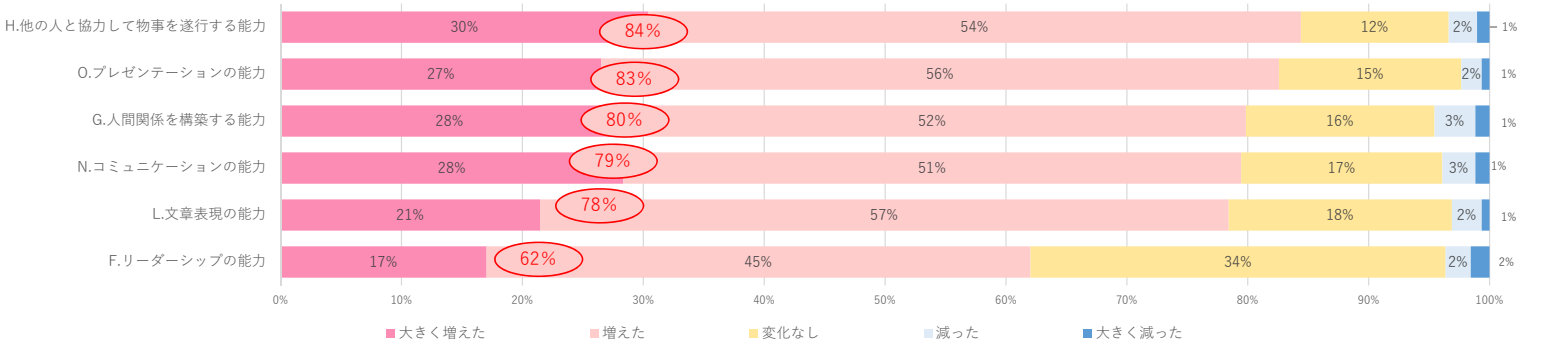
★全学：４年生の９割以上が成長を実感している
★SD学科・MC学科：不満層の割合がやや減少した



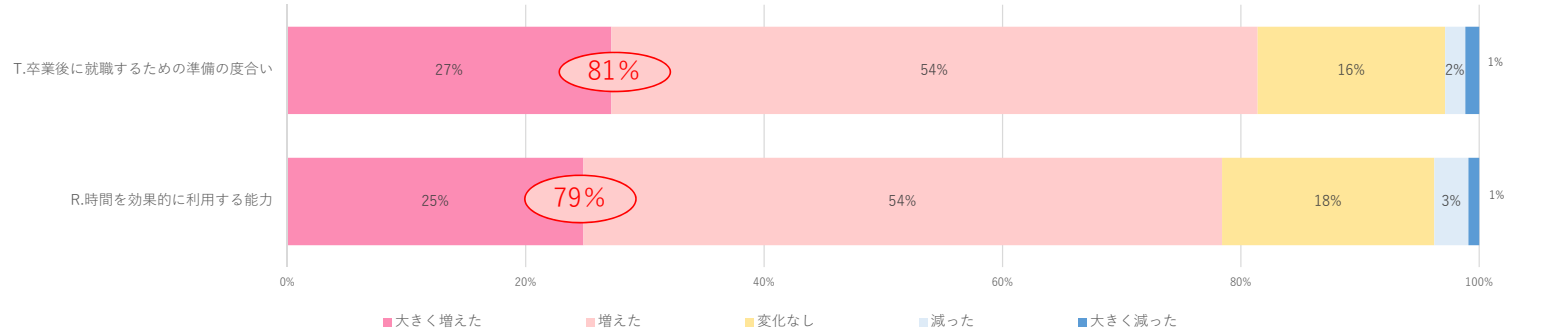
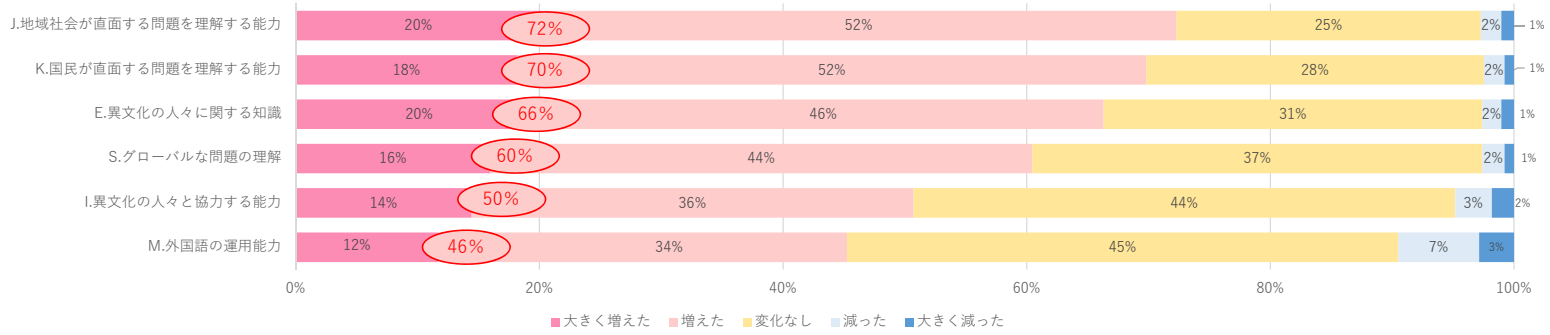
２－（１）情報収集・分析力、課題発見・解決力【共通学士力①・③】



２－（２）コミュニケーション力【共通学士力④】



２－（３）セルフマネジメント力【共通学士力⑤】



２－（４）その他（国際理解力と語学力）